

# 第66回全国博物館大会決議

私たちは、公益財団法人日本博物館協会主催のもと、東京都歴史文化財団、東京都博物館協議会、日本博物館協会東京支部の共催、ならびに文化庁および観光庁の後援を得て、日本博物館協会創立90周年記念となる第66回全国博物館大会を、平成30(2018)年11月28日・29日・30日の3日間にわたり東京・上野地区を中心に開催し、全国から約760名が参加して熱心な討議を行った。

今日、博物館は、歴史文化・自然科学等多岐にわたる文化的所産の保存継承・活用を核とする生涯学習の中核施設であることはもちろん、文化芸術活動の拠点、さらに観光や地域振興の担い手として、多様な役割が期待されている。しかし、今後博物館が社会からの期待に応え、持続的かつ発展的に役割を果たしていくためには、個々の博物館活動への支援や人材の育成などが担保される博物館制度の確立等、解決しなくてはならない課題が多く残されている。

本大会では、館種・設置者の如何を問わず全国から集った博物館関係者ととともに、ICOM（国際博物館会議）幹部諸氏の参加も得て活発な議論が交わされた。

本大会の議論をとおり、私たちは、今後、博物館の基本的機能のより一層の充実を図りつつ、地域社会との連携、国際化、大規模災害への対応等を推進する必要がある、そのためには、各博物館の努力はもとより、厳しい運営環境の改善や博物館制度の充実が不可欠であることを確認した。

ここに、「博物館からつながる」という本大会のテーマを実効あるものとするため、第66回全国博物館大会の名において次のように決議する。

## 記

- 1 各博物館は、日本博物館協会の『対話と連携の博物館』（平成13(2001)年）、『博物館の望ましい姿』（平成15(2003)年）、ICOMの職業倫理規定を踏まえて制定した「博物館の原則」と「博物館関係者の行動規範」（平成24(2012)年）を行動指針とし、2015年にユネスコが採択した「ミュージアムと収蔵品の保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告」の趣旨も十分に理解し、相互の連携強化を図り積極的に行動する。その上で、博物館の公益性及び信頼性の確保とともに、文化財・博物館資料等の保存環境の整備、学芸員等必要な人材確保や育成等、基本的機能の確保・充実に向けて努力する。
- 2 各博物館は、来年9月に開催される第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会に積極的に参加し、世界の博物館関係者との交流のなかで、国際的な視野に立って博物館の社会的役割を理解するとともに、国内外の博物館を取巻く課題解決に向けた議論を進める。また、博物館の持続的発展に向け、ICOM京都大会の成果を踏まえた継続的・具体的な取組を創出し、国際会議や研修等へ積極的に参加し人材育成を図るとともに、資料情報等の多言語化やデータベース化等による国の内外への情報発信力強化に取り組む。日本博物館協会は、各博物館とともに、これらの取組の着実な進展に向け、国を始めとする関係機関・団体等に対し支援・協力を強く要請する。
- 3 日本博物館協会は、博物館の持続的発展に不可欠な基本的制度の充実に向けて、これまでの議論を踏まえ、現行の博物館法の見直しについて、各博物館とともに、国を始めとする関係機関・団体等との連携の下に速やかに検討を進める。また、新たな制度の検討に際しては、公私立博物館に対する支援が充実し、運営形態が多様化する博物館において、経費・人員の削減や合理化・効率化のみが優先されることなく、その目的・役割が確実に達成できる制度設計となるよう充分配慮するとともに、関係機関等に理解を求める。
- 4 各博物館は、未だ復興途上にある東日本大震災等で被災した博物館への支援を継続し、多発する大規模災害における博物館・文化財の被害を防ぎ、被災した博物館や文化財の復興を支援するために連携を強化するとともに、日本博物館協会は、地域及び全国的な文化財防災ネットワークと連携して博物館全体の防災体制の構築・強化に努める。

以上